

月刊 きょうと教育通信

Vol.35 平成18年2月号 発行:京都市教育委員会総務課(TEL222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

「緊急拡大子ども安全会議」 ～開かれた学校づくりと安心 安全の取組の融合を！～

冬休み明けの始業時期に合わせ、子どもの安全確保に万全を期し、さらなる取組強化に繋げるため、1月6日に「緊急拡大子ども安全会議」が門川大作教育長、市P連日下部潔会長、人づくり21世紀委久保田真由美幹事長をはじめ70名が出席し、開催されました。今回の会議では、

①開かれた学校づくりを通じた市民ぐるみの安全確保の推進

②教育長をはじめ、首席指導主事等による全小学校一斉訪問・激励・取組確認等

「学校安全推進会議」や「見守り隊」について、1月10日以降4日間で全小学校を訪問。

③子どもの見守り活動の更なる拡充に繋げる実践例の全市的拡大

山ノ内小学校区の報告を受け、取組の全市的拡大

④ジャンパーの作成等

P T Aからの要請を受け、各小学校へジャンパー作成等に必要な経費を配分

⑤「こどもあんしん・あんぜんパトロール中」ロゴ入り腕章の追加配備（計10,000点配備）

等が提起され、参加者は単に子どもたちの安全確保だけでなく、学校・家庭・地域の連携を深め、学び・育ちを一層充実させていくことを確認しあいました。



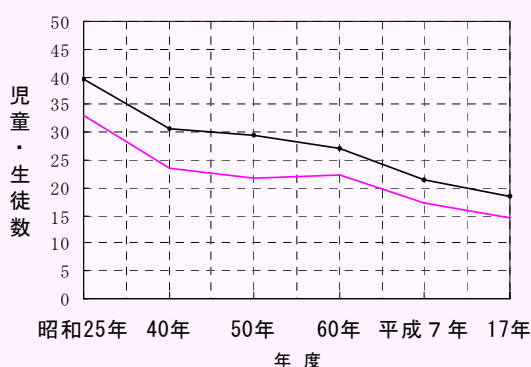
◇ご意見・お問合せ＝体育健康教育室（TEL213-5473）

京都市の教育環境が大幅に改善！

教員1人あたりの児童・生徒数がこの20年間で大きく改善。昭和40年前後には、教員1人あたりの児童・生徒数が30人を超えていましたが、平成17年度現在、小学校（下図の黒線）で教員1人あたり18.5人、中学校（赤線）で同14.5人と大幅に改善されています。

これは、全国で初めて構造改革特区制度を活用して小学校1・2年生に35人学級を導入するなど、根本市政の教育改革の成果の現れでもあると考えられます。

教員一人当たり児童・生徒数の推移



◇ご意見・お問合せ＝総務課（TEL222-3767）

《1月の主なできごと》

- 10日 小中一貫教育推進室新設。構造改革特区制度等に基づき小中一貫教育を総合的に推進するため新設。
- 16日 学校歴史博物館「教科書の中の女性たち～なつかしの教科書大集合～」。(~4月18日)
- 20日 第2回全国小学校英語活動実践研究大会。市内3小学校の公開授業や4分科会での研究協議。全国から700名参加。(~21日)
- 20日 スチューデント・ファイナンスパーク開設準備室。19年1月に開設へ万全を期し、設置。

日本料理アカデミーとの連携による「食育カリキュラム」が始動！

日本食を通じ、食に対する興味関心を高めるとともに、五感を通して食の大切さの習得を目指すため実施。1回目は1月25日に創業70年の「萬重」の田村圭吾さん等から仁和小児童が「味覚教育」について直接指導を受け、だし作りに挑戦。「一味違う」料理を作り、児童たちから感嘆の声が上がっていました。

以降、伏見板橋小（協力：魚三樓）、西陣中央小（協力：萬重）、新町小（協力：近又）、修学院小（協力：平八茶屋）でも開催。

伏見工業高校ラグビー部が 4度目の全国制覇！

1月7日、「全国高校ラグビーフットボール大会」において、伏見工業高校ラグビーフットボール部が、見事5年ぶり4度目の栄冠に輝きました。

幾多の激戦を勝ち抜き、躍り上がって、歓喜する選手たちの姿は、新年のスタートを切ったばかりの京都を大いに元気づける「最高のお年玉」となりました。

伏工ラグビー部は、全国大会での登録メンバー25人中、24人が京都市立中学校の出身。スポーツ推薦のない公立高校が全国制覇を果たしたことは、極めて稀な快挙であり、まさに京都市立中学校運動部活動の成果でもあります。



歓喜に沸く伏見工業ラグビー部の選手

市立中学生が女子駅伝でも大活躍！

1月15日には、京都を舞台にした「第24回全国都道府県対抗女子駅伝」において、京都チームが2年連続10度目となる優勝を達成。池本かいりさん（洛西中）がリズムに乗った快走で大活躍しました。

◇ご意見・お問合せ＝体育健康教育室（TEL 213-5473）

京都市成人の日記念式典 過去最高の9,111人を迎え、晴れやかに開催！

成人の日の1月9日、「京都市成人の日記念式典」が、過去最高となる9,111人（対象者の54.5%）もの新成人が参加し開催。

式典では、榎本頼兼市長が「京都の地で育んだ絆を大切に」と式辞を述べた後、今回初めて実施した公募により選ばれた新成人代表が、大人としての決意「二十歳の誓い」を表明。厳粛な中にも温かみのある雰囲気満ちあふれました。また、市民ぐるみで新成人を祝い励ます「はたちプロジェクト」に基づき、仕事や家庭の事情で成人式に参加できなかった年配者が「大人のけじめ」として式典に臨む「思い出成人式」など、多彩な取組を実施しました。



京都市の成人式が昨年日本一に！ 成人式サミットが京都で3月10日開催！

全国の成人式の取組が京都に集結し、昨年京都市が全国一と評価された成人式大賞授賞式、山口良治京都市スポーツ政策顧問の基調提案や心温まる成人式の創造に向け議論。13時30分から金剛能楽堂。申し込みは、電話FAXで、氏名、住所、電話番号を添えて生涯学習部まで。

◇ご意見・お問合せ＝生涯学習部（TEL 222-3800）

市立高校生が全国を舞台に大活躍！ 市立学校文化芸術賞表彰



優れた研究や文化芸術活動で輝かしい成績を収めた生徒を称える京都市立学校文化芸術賞。この度、堀川高2年の林裕美さん、同校2年6名で結成した「まったりチーム」、そして塔南高吹奏楽部の1個人2団体が、栄えある同賞に輝きました。

林さんは、赤土を利用した地下水中のヒ素除去法の考案、「まったりチーム」は、携帯電話を使った紫外線測定器等の開発という、研究者顔負けの高度で独創的な研究が高く評価され、それぞれ「ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ」優秀賞、「ボーダフォンモバイル・エコ・スクール」グランプリを受賞。塔南高吹奏楽部は、マーチングバンド・バトントワリング全国大会において、高校生最上位である7位入賞を果たしました。

生徒の皆さんは、門川大作教育長からの激励の言葉に、「これからも頑張りたい！」と、今後の抱負を力強く語ってくれました。

◇ご意見・お問合せ＝学校指導課（TEL 222-3811）